

アプリ等で手続き できるよう推進を

答 住民サービスの向上に取り組む



赤嶺 奈津江 議員



マイナンバーカード受付窓口

問 DX窓口(書かない窓口)、システムやアプリ等で手続きできるよう推進をしてほしいかどうか。また窓口業務を整理し、総合窓口設置と全庁的な窓口業務委託をしてはどうか。

副町長 窓口のDX化については、町DX推進計画の実施計画に位置づけ推進している。今後もDXによる住民サービスの向上に取り組んでいく。総合窓口や全庁的な窓口業務の設置は、委託対象業務や費用対効果なども含め、先行自治体の事例を参考に調査研究していく。

問 マイナンバー業務を委託にしたが現状はどう変化したか。

副町長 民間事業者のノウハウ活用と人員体制の強化により、窓口の待ち時間や予約混雑が大幅に緩和され、円滑に運営している。また、事前準備や通知発送などの事務処理も迅速化され、安定した人員確保も図られている。

都市計画と墓地申請を 問う

問 都市計画と墓地申請を問う。土地の利用などの観点から考えると経済建設部局で対応すべきと考えるがどうか。

副町長 墓地、埋葬等に関する法律は、墓地等の管理及び埋葬等が公衆衛生の見地から行われることを目的としていることから、住民環境課が所掌する公衆衛生業務として対応している。

問 都市計画の中に含めたところを、しっかりと把握できるように、経済建設部、まちづくり振興課でやってほしいかどうか。

総務部長 町の規定に基づき、立地条件とか周辺の環境を確認して、必要に応じて関係課と協議を行いながら判断している。住民環境課とまちづくり振興課で互いに確認しながら、受理を進めている状況である。当面の間は状況を見ながら、また社会情勢の変化等がある場合は、その辺も含めて検討が必要であれば、また対応していく。

4年間を振り返って

仲間とともに議会改革に挑み、成長できた4年間に心から感謝しています。